

No. 16-9 生産システム部門研究発表講演会 2016

◆学生向け企画◆

第5室

10:30～11:50 「生産技術の仕事とは？」（大手メーカーのエンジニアが仕事の魅力を語ります！）
11:50～13:00 企業参加座談会

【開催趣旨】

生産システムを志す、研究している大学生向けに、企業の生産技術者が、実際の業務内容や、自らの志、夢などを紹介し、学生さんに自分の活躍の姿、将来像を思い浮かべてもらおう、技術者から直接聞いてもらおうというセッションです。

(1) (株)デンソー

「生産技術とは自分の想いを具現化できる仕事」

要 旨：この惑星を技術で守る為の製品を世に出す為に、ある時は新技術で、ある時は製品設計まで遡って実現していくのが生産技術者です。『多岐に渡る技術開発』、『世界に広がる現場』、『多くの人とのつながり』中で体感する仕事の面白みをご紹介します。

講演者：日比 靖（ひび やすし、ダントツ工場推進部 第5生産システム室）

(2) 富士通(株)

「富士通のものづくりを支える生産技術」

要 旨：富士通は ICT ベンダーであると同時に、スーパーコンピューターやネットワーク機器を開発・製造するものづくり企業でもあります。製品を高品質かつ素早く開発・製造する、ICT を活用した生産技術開発『スマートなものづくり』の取り組みを、仕事の面白さや大変さを交えてご紹介します。

講演者：田村 浩晃（たむら ひろあき、テクノロジ&ものづくり本部 共通生産技術センター 生産技術企画部）

(3) (株)日立製作所

「生産技術「研究者」とは？」

要 旨：日立グループの多様な製品、世界中のものづくりの現場を対象として、現場ですぐに役立つ技術から数年先を見越した未来の技術まで幅広いテーマで技術開発に取り組んでいます。製品事業部門ではなく、研究所に所属して生産システムを研究開発する面白さ、大変さ、やりがいについてお話しします。

講演者：智田 崇文（ちだ たかふみ、研究開発グループ 生産イノベーションセンタ）

(4) ホンダエンジニアリング(株)

「HONDA での『もの造り進化』」

要 旨：我々モビリティメーカーは、時代に応じた喜びを出来るだけ多くのお客様へ提供すべく、日夜様々な挑戦を続けています。これらから得られた最先端商品を、リーズナブルに且つ安全にお客様の元へ届け、創造した新たな喜びを拡大させるためには、もの造りの進化は不可欠であり、私達は誇りを持ってその『もの造り』を支えています。本講演では、HONDA でのもの造り進化を、事例を交えながらお伝えし、未来を担う皆様へ、私達のもの造りに対する情熱と共に、生産技術者の素晴らしさをお伝えできればと思います。

講演者：高田 亮太郎（たかだ りょうたろう、研究開発部）

(5) 豊田自動織機(株)

「モノづくり企業をさせる生産技術 ～生産システム・ブラックボックス化の重要性」

要 旨：グローバルで競争の激しい現在、モノづくり企業において生産技術が果たす役割は何か？生産技術の差別化にとって重要な、生産設備、システムの重要性について、自身の経験からお話しします。また、現在の人材育成の仕事の中から、モノづくり企業に期待される人材像についてお伝えします。

講演者：塚本 尚樹（つかもと なおき、生技生産本部 生技開発センター 育成室）